



神奈川ネット 市政報告

No.133 発行日:2022年4月28日



市議 山崎さゆき



市議 くにかね久子



市議 布瀬めぐみ

学校給食から考える 食の安全

遺伝子組み換えやゲノム編集など遺伝子操作をされた食品が市場に出回っている問題など、食が大きく変化しています。

子どもたちの食の安全に対しては社会や私たち大人が守っていくべきです。

くにかね久子（大和市議）

大和市の学校給食

大和市の学校給食では出汁から手作りし、地場農産物による給食メニューに取り組み、「ヤマトン汁」など地場野菜を多く取り入れたメニューもあります。

今回は、給食にどのような食材を使用しているのかについて質問しました。

答弁は、「地場農産物を積極的に取り入れ、納入業者に対し、できるだけ県内産や市内産の食材を納入するよう依頼している。JAさがみに対しては、市内農家への作付けを依頼し、収穫された野菜を計画的に取り入れている」と地産地消の取り組みも進めているとのこと。

学校給食で使用する食材の放射性物質濃度測定についても、月に2品目を選定し放射性物質濃度を測定し、安全を確認しているとのことでしたが、検査品目については検討が必要と考えます。

学校給食の安全基準はどうなっている？

学校給食の安全基準は保護者にとっても大変気になるのではない



米飯が主流の学校給食・大和市 HP より

でしょうか。

大和市では、文部科学省の学校給食衛生管理基準を基に「大和市学校給食物資品質基準」*を作成しています。しかし、ホームページで検索しても出てきません。

他市の学校給食物資品質基準を検索すると、名称は違っても多くの自治体で学校給食食材等の規格書が公開されています。なぜ、大和市は非公開とするのでしょうか。そこでホームページでの公開についても質問しました。

教育委員会によると、「大和市学校給食物資品質基準」は、安全な食材の使用を促す目的で、食材の納入業者や物資選定委員会の委員向けに作成したものであるが、今後はホームページへの掲載を行っていくと答弁しました。

子どもたちが食べる給食の安全基準は業者だけのものではないとの要望が実現しました。ホームページには、すでに「大和市学校給食物資品質基準」が掲載されています。

遺伝子組み換え食品とゲノム編集食品

また、遺伝子組み換え食品や、ゲノム編集食品への学校給食での認識についても質問しました。

遺伝子組み換え食品については、大和市は品質基準において、原則使用しないことを明記し、納入業者に提出を義務付けている規格書等により使用の有無を確認しているとのことでした。

ゲノム編集では、遺伝子を切つてつなげる過程で標的遺伝子の中に抗生物質耐性遺伝子が組み込まれることがわかっています。

しかし、大和市では、ゲノム編集食品については、安全性の審査は不要との国の見解が示されているの

で、現在のところ品質基準を見直す予定はないが、引き続き国の動向を注視していくというもので、残念な答弁でした。

ゲノム編集食品の表示をすべき

神奈川県は、これまで消費

者の視点に立ち、表示のあり方も考えるべきだと主張してきました。ゲノム編集により遺伝子操作された食品が安全かどうか不安になる市民は多いかと思えます。市民が自らの意思で食品を選択できる環境を整えるようにするために、国はゲノム編集食品について表示すべきです。

ゲノム編集については、今後も注視し、消費者目線に立った提案を続けていきます。

*学校給食納入物資品質基準(抜粋)

1. 原則として、添加物が極力入っていない物
2. 原則として、国内産の物
3. 賞味期限内で、できるだけ新しい物
4. 原則として、遺伝子組み換えのされていない物
5. 保存時・配送時・納品時には温度に配慮する
6. 異物混入のない物、包装がされているものについては包装の完全な物

大和市ホームページの「やまとの社会科見学」で学校給食ができるまでの動画が配信されています。

◇3月議会では、他に「学校のプールのヤゴ救出」について質問しました。

◆くにかね久子の一般質問はホームページでもご覧いただけます。こちらのQRコードからお入りください。



2022年度 予算について

布瀬めぐみ（大和市議）

大和市の市立病院や下水道事業等を除く一般会計予算の新年度の総額は、848億円で、前年度と比べて2%の増加となりました。6年連続の増加です。

神奈川ネットが提案した具体的事業では、3歳半児健診の1次検査に、弱視の発見に有効な屈折検査機器が導入されます。効果の高い早期治療に繋がることと期待されます。

また、外出支援への取り組みとして道にベンチを設置する予算が計上されています。座れる場所が増えることにより外出への安心感が高まります。高齢になっても外出しやすい街づくりの足掛かりとして重要な施策です。

新規事業のコロナ禍で孤立しがちな保護者の不安に寄り添う助産師による産後ケア事業は評価できます。

保育所は待機児童ゼロのために毎年増えています。保育士不足を解消する施策は見えていません。

現在工事が行われているやまと公園整備事業については疑問を感じています。公園の殆どを芝生で整備するため、芝生養生の時期は公園に入ることができません。必要以上に広い休憩所には、赤ちゃんをちよつと寝かせておく場所もありません。市民の声が多く反映されていない事業は納得いかないという意思表示として、議決の場では神奈川ネットの1人の議員が一般会計予算に反対しました。

